

観光客誘客事業 (新型コロナウイルス対策誘客促進事業)

商工観光部 観光PR課

事業費：85,000千円

事業の概要

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休業した宿泊施設や、鹿児島国体関連の団体宿泊客キャンセル等の影響を考慮し、「Go To トラベルキャンペーン」等を利用して来られた霧島市内宿泊客に対して紅葉時期の秋以降に宿泊できる宿泊割引券を抽選で送付するとともに、公式ツイッターでフォロー&リツイートした方の中から抽選で特産品のデジタルクーポンを発行し、霧島への再訪・宿泊による経済効果をより一層波及させる。

また、7月1日から受付を開始している「スクールトリップ in 霧島！10,000人キャンペーン事業」については、現在県内外の多くの学校から申込があることを踏まえ、対象者を10,000人追加し、20,000人とする。

事業内容・事業費内訳等

■事業費総額 85,000千円 ※いざ霧島キャンペーン実行委員会（官民共同補助事業）への補助金

【負担金補助及び交付金】 85,000千円

①カムバック to いざ霧島！事業

【宿泊助成】 53,000千円（10,000円×5,000人+30,000円×100人）

【フォロー&リツイートキャンペーン】 5,250千円（システム利用料250千円、特産品クーポン5,000千円（5,000円×1,000人））

【デジタルスタンプラリーシステム利用料】 350千円（※第1弾からの継続2か月分）

【広告等】 2,400千円 【印刷製本費】 1,000千円 【事務費】 3,000千円

②スクールトリップ in 霧島！20,000人キャンペーン事業

【宿泊助成追加分】 20,000千円（2,000円×10,000人）

事業実施の経緯及び効果

カムバック to いざ霧島！事業については、7月1日から実施している「いざ霧島！3万人キャンペーン事業」の第2弾として、宿泊客の減少や鹿児島国体関連の団体宿泊客のキャンセル等に対し迅速に対応するための追加緊急措置を行うものである。効果として、次回から使用できる宿泊割引券を送付することで、本市への再訪・宿泊による経済効果をより一層波及させることができる。

また、同様に7月1日から受付を開始している「スクールトリップ in 霧島！10,000人キャンペーン事業」については、県内外の多くの学校から申込があることから、対象者を10,000人追加するものである。効果として、本年度本市に宿泊し、霧島の魅力を知ってもらうことで、来年度以降の修学旅行先として選定される可能性が高まる。